

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	基礎演技Ⅳ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名		開設期	前期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	70時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	必要に応じて随時、課題のテキスト及び台本配布				
担当教員情報					
担当教員	笹倉舞・磯辺万沙子・西久保治好		実務経験の有無・職種	有・俳優　女優　演出家	
学習目的					
この科目を受講する学生は基礎演技Ⅲを通じて学んだことを発展させ、成果発表に向けてコミュニケーション能力を向上させ、より身体的表現の多様性を身に着け、精神的、肉体的に成長することができる。基礎演技Ⅲ同様、他人を思いやり、共に協力し、粘り強く目的を達する事を可能にする人間力も身につく。これらの能力は演劇界・芸能界にとどまらず、他の業界、他業種においても活用され、他者とのスムーズな交流を可能にする。実社会において人間関係を良好に保つ事は非常に重要であることを演劇を通してより理解できるようになることを目的としている。					
到達目標					
表現の内容が他者（観客）に正確に伝えられる技術の基礎をより発展した形として身に着けることを目標とする。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を広めることはもちろん、演劇の作り方によって協働の意味を知り、作品を創り上げることにより協調性を養う。また、役者のあり方を学ぶ事によって自分自身にできることを実践し、精神と肉体を鍛え上げる。すべては観客のためにあることを考えられる人間になれることを最終目標とする。					
教育方法等					
授業概要	俳優としての技術能力の向上を目指す。そして、基本を大切にした授業を引き続き行う。舞台総合実習に繋げるための準備として戯曲を様々な観点から考察する。演劇は共同作業であることから、作品を作り上げて行く過程で生ずる、様々な問題を、お互いの立場を尊重しながら解決していく方法を学び、演劇を通して、個人的にも集団的にも、尚且つ肉体的、精神的に成長したしたことを実感できる授業を目指す。				
注意点	学生、教員がお互いを尊敬しあい、和やかに、かつ礼儀正しく行われることを基本とする。理由なき欠席・遅刻は認めない。携帯電話、スマートフォンの電源は切る、私語は慎む等、社会の常識的な行動は常に意識すること。課題には積極的に取り組むこと。社会性無いものは役者としても大きな欠陥があることを理解すること。成果も大切だが、取り組む姿勢を最も大事にしなければならない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備　考		
	試験・課題	40%	自己の能力をどれだけ高められたかを評価する		
	平常点	30%	授業態度、授業参加の積極性を総合的に評価する		
	成果発表 （口頭・実技）	30%	授業時間内の発表における取組方等を総合的に評価する		
授業計画（1 回～10回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	演ずるとは（1）		（短編台本）キャラクターの生い立ちなど、役柄の必然を解釈する		
2 回	演ずるとは（2）		（短編台本）役を作る上での必要なことを理解する		
3 回	演ずるとは（3）		（短編台本）役柄を考えた演技表現を目指す		
4 回	演ずるとは（4）		（短編台本）総合的なパフォーマンスの重要性を理解する		
5 回	舞台総合実習に向けて（1）		台本配布。作品を理解する。		
6 回	舞台総合実習に向けて（2）		オーディションにより配役を決定し、自分の役に向き合い研究する		
7 回	舞台総合実習に向けて（3）		作品をつくる際の役割、分担などを理解する		
8 回	舞台総合実習に向けて（4）		台詞の意味を考え、与えられた役を理解する		
9 回	舞台総合実習に向けて（5）		それぞれの場を考察し、シーンを細かく分析する		
1 0 回	舞台総合実習に向けて（6）		各シーンを作り上げて行く過程を考える		